



各生協の取り組みを共有することで、次回の企画へ生かしています。

東北の商品の利用を通じて、遠く離れた九州・沖縄から復興を応援したい—その思いから、2014年9月にコープ九州事業連合は「コープ九州復興支援企画チーム会」を発足しました。店舗や共同購入(宅配)で「おいしく食べて被災地支援」を提案する活動を取材しました。

組合員の発言で発足した「復興支援企画チーム会」

コープ九州事業連合(以下、コープ九州)では、被災地の商品を利用することで復興を応援しようと会員生協に呼び掛け、「コープ九州復興支援企画チーム会」を立ち上げました。

「2014年6月に行なわれたコープ九州の通常総会で、『組合員活動と商品事業の双方が連携して、コープ九州全体での被災地産品の継続した買い支えの取り組みが必要ではないか』と代議員である組合員理事から発言がありました。その発言を受けて、『コープ九州復興支援企画チーム会』をその年の9月に発足。店舗と共同購入で連携した企画の検討を始めました」。そう話すのは、事業統括本部無店舗事業部 供給企画部の鈴木雄太さん。発足当時のメンバーで、現在は店舗事業部 営業企画部の伊良部聖人さんと共に企画に携わっています。

メンバーは、会員生協の組合員理事、商品企画担当者、カタログ制作者。「おいしく食べてつながる東北と九州」をコンセプトに活動しているそうです。

おいしく食べてつながる 東北と九州

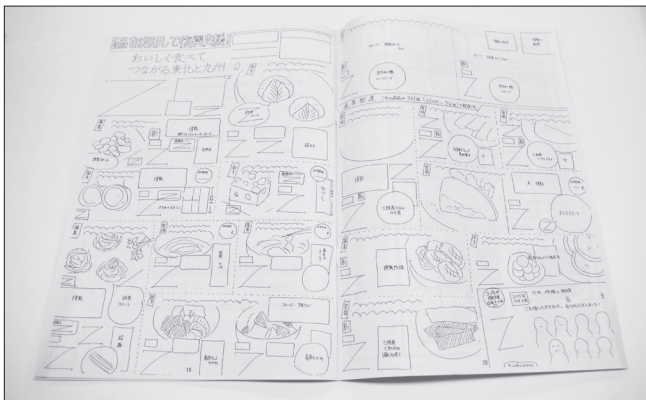
コープ九州事業連合



メンバーの組合員理事の皆さん。
(前列左から)コープおおい 仲摩清美さん、生協くまもと 中野祐子さん、エフコープ 佐藤智重さん。
(後列左から)コープおきなわ 後藤恭子さん、生協コープかごしま 横山幸子さん、ララコープ 春田さつきさん、コープさが生協 直塚美保さん。



コープ九州事業連合 事業統括本部 無店舗事業部 供給企画部の鈴木雄太さん(左)と、店舗事業部 営業企画部の伊良部聖人さん。



組合員が「利用したい!」と思うチラシになるよう、構成も検討しました。



15年10月の共同購入のチラシ。

この会が進める企画は、趣旨に賛同した店舗で年2回（9月1日の防災の日、3月11日の東日本大震災発災日を含むそれぞれ1週間）、共同購入で年3回（6月、10月、3月）。企画ごとに取り扱う商品や共同購入のチラシのレイアウトなどを検討しています。

現場でのさまざまな工夫が利用につながる

紹介する商品は、岩手県の田老町漁協のわかめや、宮城県・福島県の製菓メーカーのお菓子など、東北産や東北ゆかりのものなどです。共同購入のチラシには、メンバーの組合員理事が考えた試食コメントを掲載。店舗では試食販売を行うことで、地域の方々に広くご利用を呼び掛けています。

「コープ九州では店舗での活用ツールとしてのぼりやPOPなどを用意していますが、会員生協の皆さんが一丸となつてこの企画を盛り上げようと、さらに工夫してくださっています。店舗と共同購入の担当者は現場でのおすすめに力を入れてくれますし、店舗で共同購入の企画を案内するなど、事業間の連携も進んでいます。こうした取り組みが組合員の皆さんのご理解につな

がり、利用いただけているのだと思います」。伊良部さんがそう話すように、企画が始まった14年9月から店舗・共同購入のどちらでも利用が伸び続けているそうです。

組合員理事の皆さんは、「試食販売などで店頭に立つと、『商品を食べながら、家族で東北について話しました』『商品を利用することが支援になることがうれしい』という声をいただくことが多かったですね。遠く離れた九州・沖縄で被災地の商品に触れることが、組合員が震災を考えるきっかけになっています」とこの取り組みへの反響を教えてくださいました。

「声の循環」で気持ちをお届け

復興支援企画チーム会が大切にしていることの一つに「声の循環」があります。コープ九州では、商品を利用した組合員の声を東北のお取引先に届け、その声に対して返ってきたお取引先からのお礼をチラシに載せて組合員にお知らせしているのです。

「お取引先の方の中には、組合員の声を目にして感動のあまり鳥肌が立ったと話す人、直接組合員の皆さんにお礼が言いたいという人も



3月企画の商品を試食中。この試食でチラシのコメントを考えます。

います。そういった声を組合員にお返しすることで、被災地の力になっていくことを実感できるのだと思います。私たちは、こうした『声の循環』を商品のご利用につなげ、息の長い支援を続けていきたいと考えています」（鈴木さん）

メンバーの組合員理事の皆さんも思いは同じで、「被災地の商品だから」という理由だけではなく、お取引先の商品へのこだわりや込められた思いを伝えることで「おいしいから買いたい」という組合員を増やしていくことが目標だと話します。

九州・沖縄でおいしく食べて東北を応援する取り組みは今後も続いていきます。

※ コープ九州事業連合の会員生協はエフコープ（福岡県）、コープさが生協、ララコープ（長崎県）、生協くまもと、コープおおいた、コープみやざき（今回不参加）、生協コープかごしま、コープおきなわの8生協。